



知的財産 支援活動だより

**特集 UNITT
アニュアルカンファレンス2025について**



トピックス

10月までの支援活動（東北会・関東会・東海会・関西会・中国会）

知的財産

支援活動だより

2025年11月No.263

目 次

特 集 UNITTアニュアルカンファレンス2025

知的財産支援センター第2事業部 大森勇 5

1. 10月までの支援活動

東北会

令和7年度「知的財産活用サポートセンター業務」
～弁理士による知的財産授業～
「工業における知的財産の基礎知識」in 宮古商工高等学校

東北会 野崎俊剛 8

令和7年度 知的財産活用サポートセンター事業（岩手県）
「知的財産教育授業」～弁理士による知的財産授業～
「知的財産の基礎知識」in 岩手県立産業技術短期大学校（矢巾校）

東北会 東田潔 9

令和7年度みやぎ知財セミナー
第1回 「知財トラブルを防ぐ！？」疑問がスッキリ解決する知財基礎セミナー

東北会 若山剛 10

関東会

「知的財産特別授業」テルウェル千葉市アフタースクール

関東会 千葉委員会 高橋洋平 11

「知的財産特別授業」筑波大学附属中学校

関東会 東京委員会 後藤仁志 12

「知的財産特別授業」町田市少年少女発明クラブ

関東会 知財創造教育支援委員会 高橋洋平 13

東海会

「北名古屋市立師勝南小学校における知財・発明工作授業」

東海会 教育機関支援機構 機構長 竹村恵一 15

「週末パテントセミナー2025 in 静岡（浜松会場第1回）」

東海会 静岡県地区会 地区会長 中野雅章 16

運営委員 絹川将史

運営委員 村松亮子

「田原市少年少女発明クラブにおける知的財産授業」			
東海会 教育機関支援機構 運営委員	伊藤正典	17	
東三河地区委員会 委員	石原五郎		
「北名古屋市少年少女発明クラブにおける知的財産授業」			
東海会 教育機関支援機構 機構長	竹村恵一	18	
副機構長	二宮佳亮		
運営委員	丸山明夫		
「こまき少年少女発明クラブにおける知的財産授業」			
東海会 教育機関支援機構 副機構長	中島貴志	19	
運営委員	神戸真澄		
運営委員	廣江史典		
「週末パテントセミナー2025in静岡（静岡会場第1回）」			
東海会 静岡県地区会 地区会長	中野雅章	20	
運営委員	吉延彰広		
運営委員	永田由美		
長野県と日本弁理士会との知的財産支援協定に基づく（地域知財経営支援ネットワーク事業）			
「週末パテントセミナー2025in松本」			
東海会 長野県地区会 地区副会長	岩垂裕司	21	
（一社）三重県発明協会・日本弁理士会東海会「三重県発明くふう展～こども工作教室～」			
東海会 三重県地区会 地区会長	伊藤寿浩	22	
「週末パテントセミナー2025in静岡（静岡会場第2回）」			
東海会 静岡県地区会 地区会長	中野正明	23	
運営委員	吉延彰広		
運営委員	松本喬		
「沼津工業高等専門学校での知財紛争劇」			
東海会 教育機関支援機構 運営委員	中島貴志	24	

関西会

「知的財産特別授業」奈良県立王寺工業高等学校	関西会 知財授業担当	千原清誠	25
「知的財産特別授業」滋賀県立瀬田工業高等学校	関西会 知財授業担当	寺薗佳江	26
「知的財産特別授業」大阪教育大学附属平野中学校	関西会 知財授業担当	寺薗佳江	27
「知的財産特別授業」高槻市立樺田小学校	関西会 知財授業担当	大釜典子	28

中国会

「令和7年度 INPIT 島根県知財総合支援窓口連携会議
～架空の相談事例をもとにしたワークショップ～」

中国会 中井正樹 29

2. 支援活動一覧表（11月分）

30

本だよりはWebでも閲覧できます。日本弁理士会ホームページ (<https://www.jpaa.or.jp/>)



UNITT アニユアルカンファレンス2025

知的財産支援センター第2事業部 大森勇

1. 概略

UNITT（大学技術移転協議会）2025 アニユアルカンファレンスは、9月16日～18日の期間、東京都文京区湯島にある東京科学大学（湯島キャンパス）MDタワーで現地開催された（参加者600名）。

弁理士会はUNITTの賛助会員であり同カンファレンスに弁理士会セッション（9月18日12時半～14時半）を提供しており、弁理士会から高橋昌義副会長、永田元昭執行理事、同知的財産支援センター第2事業部から高城、大森、鷺尾、百瀬、藤木、下田、関口が出席した。

セッションに先がけて初日の9月16日には祝賀会が開催された。冒頭の開会挨拶の後、乾杯時には他の関係団体とともに高橋副会長も登壇した。祝賀会の参加者は、大学教授、大学の产学連携担当者、文部科学省、理化学研究所など、多岐にわたっていた。参加者の多くは毎回出席しているようで、互いに顔なじみの雰囲気であった。弁理士会担当として出席した弁理士は、弁理士会のチラシを配布し、弁理士会の活動内容を紹介した。その結果、大学関係者より、弁理士による知的財産関連の講座を希望している旨を伺ったため、該当地域の弁理士会にお問い合わせいただくようお伝えした。

2. アニユアルカンファレンスについて

先ず、大森が参加したセッションについて簡単に報告する。

セミナールームは全部で3つあり、最も広いのが記念講堂（300名以上入る）、次に第1ルーム（スクール形式の机の並びで約180名入る）、最後の第2ルーム（小講堂になっており、約80名入る）、で行われた。参加者は、事前に申し込んだセミナーに限らず、席のある部屋に入ってセッションに参加することができるようになっていた。

【9月16日】UNITT 25周年記念シンポジウム 大森は不参加

【9月17日】

9時～11時 1D スポンサーシップ 第2ルーム

モデレータ：木村雅和 静岡理工科大学長

**スピーカー：吉田正義（ドライト国際特許事務所）、正城敏博（大阪大）、高木真紀子（金沢工業大）、
石川薰（特許庁）**

先ず、特許庁石川様より大学内には特許権獲得に対し「実用志向タイプ、真理探究タイプ、両者のバランスタイプ」がいる旨の説明があり、「実用志向タイプ、バランスタイプ」には、成果を社会課題解決のために役立たせる、企業の際に必要、実用化の際に研究の見直しができる、観点で特許を進めるのが有効で、「真理探究タイプ」には特許調査を通じて研究の新たな切り口が見つかる。論文以外の成果としてアピールできる旨を説明するのが有効、と説明があった。

研究者の持つ特許出願に対する誤解の研究では、理解不足からくる誤解の例がいくつか説明され、事前の説明の有効性が明らかになった。

大学の知財の社会実装を進めるにあたり、メリットや、危機感をあおる説明をするよりも、羨ましい憧れを生じるような成功体験を述べる方が有効である、旨の話を大森から提案したところ、早速採用して頂き、成功体験の話をして頂いた。

また、「大学発SUの成功事例を紹介するセミナーがあるといいな」という発言があり、終了後に、支援セン

ター第2事業部でSUセミナーを実施している旨、宣伝しておいた。

12時半～14時半 2A スタートアップ、産学連携 記念講堂

モデレータ：白田大介（北海道大学）

スピーカー：箕拓也（ソニー）、松本京子（RDiscovery）、藤ヶ崎諒平（ウミトロン）

大学 TLO の立場、それを助けるベンチャーキャピタル（以下、VC）の立場、企業の立場、それぞれを経験したことのあるスピーカーが（1）大学 TOL 時代の成功、失敗、苦労話（2）大学 TLO の経験は役立っているか？（3）企業の立場に立って思うこと（4）大学へ期待すること、について、ディスカッションが行われた。

特に（4）については、裏付けデータを準備してほしい、企業側から予算取りの執行権のない者が来た場合、平和裏に話をまとめるのが難しいので、責任者が来るようにしてほしい、大学教授には技術だけでなく事業プラン説明の準備をお願いしたい、などの意見が出た。また、大森からは、小規模製造から量産化を図る際のノウハウ流出し防止について気を付けていただきたい旨、伝えておいた。

15時15分～16時45分 特別セッション「社会実装力強化に向けた研究開発マネジメント人材の育成・定着に向けて」 記念講堂

RA 協議会とUNITTによる話し合い モデレータ：正城敏博（大阪大）

社会実装強化に向けた研究開発マネジメント人材、プロジェクトマネジメント人材の育成について話がされた。社会実装を好む研究者の研究内容を広報して外部からの問い合わせを増やす。そのための技術の吸い上げのための組織つくりについて各スピーカーの説明があった。会場からは積極的な質問があった。大森からは、セッション終了後の講師との名刺交換の際に「社会実装型の研究者と真理探究型の研究者と」マッチングを行い、技術の拡散を図るのが有効と思う旨を発言させて頂いた。

【9月18日】

9時～11時 3A SUから見たリアルな世界 第1ルーム

モデレータ：矢野慎一 四国 TLO アドバイザー

スピーカー：吉國聖乃 大阪公立大 SU創出支援センター、大阪ヒートクール（株）役員、

星エリ 合同会社幸星共同創業者、中野裕紀（株）マテリアルゲート共同創業者

吉國様：生理痛を疑似体験する装置「ピリオノイト」を開発、被験者のリアクションが注目されメディアからの問い合わせが多数来るようになり、量産相手が見つかった。ビジネスは自ら試し政界を見つける試みが大切。

中野様：単分子誘電体という素材を製販している。基礎技術を応用するのが得意な人と出会うのが大切。

応用は基礎の寄せ集め、応用の得意な人に基礎技術の使い方を探してもらうのが有効、という話にたどり着いた。

学生にアントレプレナー精神を学ばせるにはどうすればよいか？という質問が出た際に、中小企業の経営者と接することでアントレプレナー精神について学ぶことができる旨のアドバイスを行った（大森）。

15時45分～ クロージング 記念講堂

本日の参加者数は600名を超えた。

次の2026年UNITTは横浜国立大学で9月28日(月)～10月1日(木)の間に行われる。同会場で、

RA協議会が9月27日～10月1日の間に行われる。

3. 【弁理士会協賛セッション】について

【9月18日】

12時半～14時45分 弁理士会のセッション 第2ルーム 参加者数は約60名、始まってから部屋に来た、数名の立ち見参加者がいた。

モデレータ：小田哲明 立命館大（弁理士）

スピーカー：木村絃子（株）ファストラック（VC、弁理士）、

白石真琴 セレイドセラピューティクス（株）（SU企業、弁理士）、

寺内伊久郎 北大TLO（弁理士）

全員弁理士としての知識がある、という点で、そうでないVC、SU企業、TLOの立場で大学発明について思うことについて情報提示がされた。何れの場合も知的財産に関する知識、アントプレナーシップ、ものづくりに必要な知識の欠落が、様々な誤解に繋がり、この部分を解決すべきであるとの印象を受けた。

モデレータ、スピーカーの自己紹介の後、（1）知財の見せ方について（2）研究者の役割はどうあるべきか（3）研究者への知財教育、シーズ発掘について、それぞれ企業側、VC側の立場で検討があった。

質疑応答では、（ア）大学発明の場合、実施権の設定は、専用実施権、完全通常実施権、どちらが良いのか、の質問、（イ）FTO（権利安定性調査）については、どの程度必要か、の質問、があり、それぞれ回答があった。

最後に、各スピーカーから大学関係者に向けて、早めのコミュニケーションをお願いする（VCの立場から）、細やかな視点を上手に使い社会課題解決を試みてほしい（SUの立場から）、自信をもって社会実装を試みてほしい（TLOの立場から）、のメッセージを送り、セミナーを終了した。

大学発明の社会実装を試みる場合は、早めに弁理士が中に入り、物事を整理して必要なノウハウ保護を行いつつ、SNS、メディア戦略を含む広報活動を通じて、支援者、協力者を見つけるのが良いと感じました。

4. 感想

本年度のUNITTでは、社会実装を考慮した応用研究が得意な研究室と、真理探究型基礎研究を行う研究室と、で知的財産保護に関する意識が異なる。特に真理探究型の研究室の教授は、知的財産保護の重要性の知識欠落が原因と思われる様々な誤解がある印象を受けた。そして、応用は基礎の寄せ集めで構成されている点を考慮すれば、基礎研究を疎かにすべきで無く、かといって、急に社会実装を意識して頂くにも無理があり、既に社会実装についての応用が得意な研究室に、基礎研究室のやっている研究の内容を理解してもらい、応用を考えてもらう試みが実用的であると思われた。

現地では、参加委員が支援センターチラシを席に置き、多くの参加者がこれらを手に取って参照していた。今回の参加は弁理士会の活動紹介に大いに役立ったと思われる。今後も引き続き弁理士会からこのような場に参加していくことが望ましいと思われる。

以上

弁理士会セッションの様子



1

10月までの支援活動

東北会

令和7年度「知的財産活用サポートセンター業務」

～弁理士による知的財産授業～

「工業における知的財産の基礎知識」in 宮古商工高等学校

1. 日 時：令和7年8月21日（木） 13：40～15：30
2. 主 催：(一社) 岩手県発明協会
3. 場 所：宮古商工高等学校 工業校舎
4. 講 師：野崎俊剛（東北会）
5. 対 象：工業系1年生（全科）約50名（教職員も含む）
6. 内 容：
 - ①講演：座学授業 テーマ「工業における知的財産の基礎知識」
 - ②演習：「身近なものを調べてみよう！こんなところに発明が！？」※日本弁理士会からのノベルティ「ユニボールシグノ」の発明がどんなところにあるか？また、同じボールペンでも他のペンとはどこが違うか？全員で特許情報プラットフォームにより調査をする。先行技術調査でどんなことが分かるか、発明や特許の構成要素・調査の必要性を学ぶ。
7. 所 感：
 - ①講演（座学授業）、②演習ともに、参加者が熱心に聞いていました。座学授業は比較的簡単な内容とし、演習は実施に販売されているペンを用いて検索に繋げるようにしました。特に演習は興味をもってもらえたようでした。

東北会 野崎俊剛

令和7年度 知的財産活用サポートセンター事業（岩手県）
「知的財産教育授業」～弁理士による知的財産授業～
「知的財産の基礎知識」in 岩手県立産業技術短期大学校(矢巾校)

1. 日 時：令和7年9月18日（木）14：40～16：10
2. 主 催：岩手県、一般社団法人岩手県発明協会（実施）
3. 場 所：岩手県立産業技術短期大学校 矢巾校 多目的ホール
4. 講 師：東田潔
5. 対 象：96名
6. 内 容：

本授業は、本校での講義は2021年から毎年行っており、本年の参加人数も概ね昨年並みとなりました（4科2年生）。

本年度から、本講の担当の教員が変わりましたが、前任の教員同様、ほぼ2年生全員を集めていただきました。また、昨年同様、授業開始前に、校長とも話をすることができ、本講義がしっかりと定着していると実感しました。

講義内容は、毎年同一テーマが指定されており、知的財産の概要、卒研（卒業製作）に必要な著作権の知識、ものづくり・商品開発と知的財産権との関係、という内容になっています。

著作権については、間近に迫っている卒研に向けて、引用の方法など、実践的な内容の説明をしました。

また、ものづくり・商品開発と知的財産権との関係については、各法の概要を説明するとともに、本校生徒のほとんどがモノづくりにかかわる企業に就職するので、各学科の専攻に関連する登録例（公報）を紹介し、さらに、近年、特に注目されている生成AIと知的財産との関係についても説明しました。

なお、本校（あるいは岩手）の東北会からの講師派遣は終了決議されており、来年以降は白紙状態ですが、少なくとも、ご担当の先生は継続を希望されているようでしたので、要請があれば引き続き続けたいと思っております。



東北会 東田潔

令和7年度みやぎ知財セミナー

第1回 「知財トラブルを防ぐ！？」疑問がスッキリ解決する知財基礎セミナー

1. 日 時：令和7年9月18日（木） 13：30～15：30

2. 主 催：宮城県産業技術総合センター

3. 場 所：オンライン開催

4. 講 師：若山剛

5. 対 象：33名

6. 内 容：

県内企業の知的財産に関する理解及び知識を深めることにより、県内企業の知財力を強化すること、特に、知的財産担当部門を持たない中小企業をセミナー対象者と想定し、経営者層や実務者への理解促進を促すことを目的としたセミナーを開催しました。本セミナーでは、特許、意匠、商標などの知的財産権の基礎を説明した後、疑問に思われることが多い、知っておきたいトピックについて解説がありました。

セミナー申し込み時、及び、講義終了後に複数の質問があり、これらの質問についても、セミナー内で回答がありました。

講義終了後の質疑応答の冒頭に、日本弁理士会東北会とその事業内容について紹介させていただきました。事業内容に関して、東北会事務所で開催される無料相談会と、気仙沼市で開催される特許商標無料相談会を中心に紹介させていただきました。

東北会 若山剛

関東会

「知的財産特別授業」 テルウェル千葉市アフタースクール

1. 日 時：令和7年9月1日（月）15：40～16：40
2. 場 所：千葉市立瑞穂小学校 図画室
3. 対 象：小学校3～6年生 合計14名
4. 講 師：知財創造教育支援委員会 赤羽崇
千葉委員会 高橋洋平
5. 内 容：

(1) 前半・座学

電子紙芝居ではレオ君の「はつめいってなあに?」を上映しました。その後、カップヌードルの透明カップ内の浮遊状態乾燥めんを見せながら、発明とは何かといった内容を説明しました。

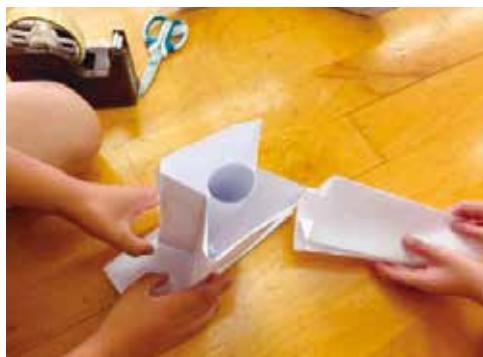
(2) 後半・工作

後半では発明工作「ペーパータワーを作ろう!」を行いました。まずは東京タワーやスカイツリー、五稜郭タワーなどの日本にある様々なタワーの写真とその高さを紹介し、タワーそのものの事例を説明しました。

その後、コピー用紙で作るタワーの高さを競うという課題を提示し、規定の重さ（トイレットペーパー1個分：約170g）をタワー頂上に載せても壊れない程度の強度が必要である旨の課題を提示したうえで、グループごとに作成を開始しました。グループは3～4名で1グループを作り、4グループでタワーの高さと強度を競い合いました。受講生が作成したものの例は添付写真をご参照ください。

タワー作成後、タワーの高さや強度を競い合った中で高さに違いはあまり出なかったものの、最も強度の強いタワーは500g以上の重たいものを載せても壊れないものが出来上がり、大いに盛り上がりました。

タワー作成後、ペーパータワーを構成する柱材となるペーパー筒の断面形状はどういったものがよいかを検討し、六角形のハニカム構造を説明した際、受講者から大きな驚きの声が上がったのが印象的でした。



関東会 千葉委員会 高橋洋平

「知的財産特別授業」筑波大学附属中学校

1. 日 時：令和7年9月3日（水）13：00～15：00

2. 場 所：筑波大学附属中学

3. 対 象：中学3年生 28名

4. 講 師：知財創造教育支援委員会 小屋迫利恵

東京委員会 後藤仁志

【オブザーバー】知財創造教育支援委員会 原田潤子、大久保真己

5. 内 容：

本授業では、2部に分けて知的財産権の基本的な考え方から具体的な制度の概要までを幅広く紹介しました。

まず、第1部では「知的財産」の全体像として、特許・実用新案・意匠・商標といった産業財産権の仕組みを解説しました。各制度の保護対象や登録要件、具体的な手続、権利期間、そして実際にどのような権利行使ができるのかを具体例を交えて説明しました。特にユニクロとアスタリスク社のセルフレジ特許訴訟、無印良品の中国における商標訴訟など、具体的な事例を取り上げ、生徒に知財が身近な社会問題とも結びついていることを示しました。

次に第2部では著作権および弁理士の職業の解説を行いました。著作権制度について、「著作権とは何か」「著作物の範囲」「著作者人格権・財産権・著作隣接権の違い」などの基本を説明しました。さらに教育目的の利用や私的複製、引用といった例外規定、二次創作やSNS投稿に関わる具体的な注意点を示し、生徒の日常生活に関わる著作権問題を考える機会としました。

最後に「弁理士とは」というテーマで、弁理士の職務内容（出願手続、契約、係争、企業内の活動など）を紹介し、技術と法律をつなぐ専門職としての役割を伝えました。また、参加したオブザーバーを含めた弁理士4名が、なぜ弁理士になったか、なってよかったこと、大変だったことを一言ずつ述べました。



関東会 東京委員会 後藤仁志

「知的財産特別授業」町田市少年少女発明クラブ

1. 日 時：令和7年9月7日（日） 10：00～12：00
2. 場 所：町田市子ども創造キャンパス ひなた村 カリヨンホール
3. 対 象：クラブ員16名（大半が小学生）
4. 講 師：東京委員会 森山朗
知財創造教育支援委員会 高橋洋平

5. 内 容：

(1) 前半・座学

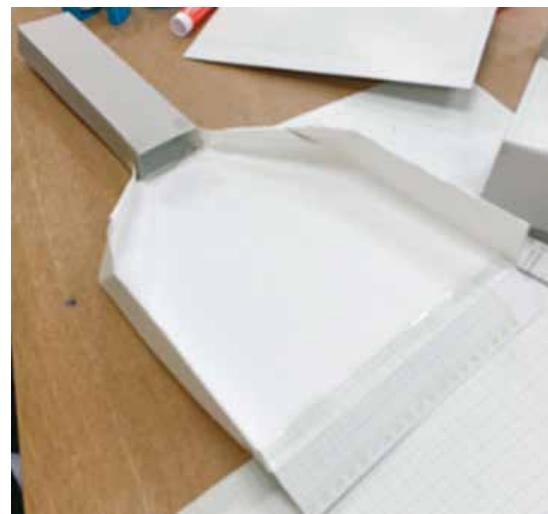
はじめに発明に関する電子紙芝居を上映しました。上映の電子紙芝居の題名は「パン職人レオ君の物語」です。その後、特許や商標などの知的財産の基本知識を説明したうえで、その基本知識を習得することを目的とした知財クイズを約10問行いました。出題したクイズの内容の一例は、発明に関する人物写真はだれか（例：トマス・エジソン、ニコラ・テスラ）、地元プロサッカーチームであるFC町田ゼルビアのチームロゴは「特許」で保護されているか（答：「商標」で保護）、世界三大発明は羅針盤・活版印刷のほかには何か（答：火薬）です。各自のクイズの解答は配布済みの解答用紙に記入してもいい、クイズ正解者のうちの上位者の数名には、全員配布の発明に関する商品（お土産）のほかに、特別の商品をプレゼントしました。

(2) 後半・発明工作

授業後半では「小さな投入口のゴミ箱に対応する『ちりとり』を作ろう」という題材で発明工作を行いました。これは、ちりとりの幅がゴミ箱の投入口幅よりも大きいとき、そのちりとり内のゴミをこぼさずに小さな投入口のゴミ箱に投入するためにはどうすればよいかという課題を解決するために発明をしてみようというものです。発明工作中に使用できる材料は講師から指定されており、その工作材料は画用紙2枚、コピー用紙2枚、紙コップ2個です。同じ課題の解決でも受講者によってそれぞれ異なる発明を生み出すのがこの発明工作的面白いところです。受講者たちの柔軟な発想に講師は毎回感心させられます。また、発明工作が早く終わってしまう受講生向けに、先に説明した共通課題だけでなく、追加課題「A:ちりとりは片手操作、B:30度傾けてもこぼれない、C:風が強い屋外で使用、D:全てのゴミ箱サイズ対応、E:自分で考えた課題の解決」のいずれかを追加で解決する複合的な発明をしてみようと促しました。

工作作成の途中において、人類が発明をした際どのように考えてきたのかという過去発明の分析結果に基づく発明発想手法（例：TRIZの発明原理「分割」）を担当講師から受講生に簡潔にお伝えし、その手法を取り入れたうえで受講者が自分の発明工作を改良していく姿も頗もしく感じました。また、発明発想手法の説明の際には受講生だけでなく、付き添いの保護者たちが受講生の子供たち以上に熱心にメモ書きしている姿がとても印象的でした。

所定の工作時間の終了後の発表時間には、それらの発明工作を全員に各々説明してもらいました。受講生全員でいろいろなアイディアを共有することも受講生の開発能力を向上させることになったことと思います。発表終了後、受講生の素敵な工作にたたえるため、受講生全員に対して発明工作修了証を授与いたしました。



関東会 知財創造教育支援委員会 高橋洋平

東海会

「北名古屋市立師勝南小学校における知財・発明工作授業」

1. 日 時：令和7年9月19日（金）9:50～11:35
2. 場 所：北名古屋市立師勝南小学校
3. 対 象：小学4年生4クラス124名
4. 講 師：教育機関支援機構 機構長 竹村恵一
運営委員 榎原毅、小玉秀男、神戸真澄、高田珠美、山本竜也、伊藤正典、高橋俊一

5. 内 容：知的財産のイロハ授業と発明ちりとり工作

北名古屋市立師勝南小学校の4年生124名に対し、知財授業を実施しました。

最初に「発明」、「特許」、「弁理士」などを説明する授業を行い、その後、発明工作「ちりとり」について説明し、工作を開始しました。

授業と発明工作の説明は、多目的室にて、124名全員を対象に実施しました。工作は、各教室へと移動して各自の机で行いました。途中、多目的室から教室への移動がありましたが、教員の案内によつてスムーズに進行できました。

工作資材は、1人分として「工作用紙4枚、紙コップ2個」を準備しました。多めに準備していたため、どの教室でも余裕がありました。最初に「工作用紙2枚」だけを配布し、追加の用紙や紙コップは希望者だけに配布しました。

巡回していた先生によると、各クラスによって進み具合に差が見られました。少しのアドバイスで何かに気付いてくれる児童も多く、それほどヒントは出さずに自ら工夫を凝らしながら製作を進める様子が多く見られました。

完成した児童には、実際にゴミ（新聞紙をちぎって丸めたもの）を集めて捨てる実験をしてもらい、改善点などを見つけてもらいました。また、どのような工夫をしたのかを説明してもらい、「発明証」を発行しました。

工作時間は60分以上確保していたが、進みの遅い児童もいたため、もう少し確保できると余裕を持って取り組めたと考えます。

以上

講義の様子



東海会 教育機関支援機構 機構長 竹村恵一

「週末パテントセミナー2025 in 静岡(浜松会場第1回)」

1. 日 時：令和7年9月26日（金） 18:30～20:40
2. 場 所：アクティシティ浜松 コングレンスセンター44会議室
3. 主 催：日本弁理士会東海会 企画・運営：静岡県地区会
4. 後 援：関東経済産業局、一般社団法人静岡県発明協会<INPIT 静岡県知財総合支援窓口
公益財団法人浜松地域イノベーション推進機構（浜松会場のみ）、
静岡県よろず支援拠点、一般社団法人静岡県商工会議所連合会
5. 対 象：一般、中小企業経営者、知財関係者など22名
6. 講 師：日本弁理士会東海会 静岡県地区会 居藤湖都、鈴木和政
7. 内 容：【前半】ビジネスモデルの守り方
【後半】国際ビジネスにおける特許権の効力

週末パテントセミナー2025 in 静岡は、～裁判例から学ぶ知的財産法～をテーマとしており、前半と後半とで異なるテーマについて、講義が行われました。第1回は【前半】「ビジネスモデルの守り方」を居藤会員が、【後半】「国際ビジネスにおける特許権の効力」を鈴木会員が、講師として担当しました。

2名の講師とともに、見やすく工夫されたスライドを用いて、聞き取りやすいテンポで分かりやすい説明を行っていました。また、発明の捉え方や特許権の効力について、各講師の体験談を踏まえながら、丁寧かつ具体的な説明が行われており、質問も活発に行われたことから、受講者も満足のいく内容であったと思います。



セミナーの様子

以上

東海会 静岡県地区会 地区会長 中野雅章
運営委員 絹川将史
運営委員 村松亮子

「田原市少年少女発明クラブにおける知的財産授業」

1. 日 時：令和7年9月27日（土）9：00～11：30
2. 場 所：田原市少年少女発明クラブ
3. 主 催：日本弁理士会東海会 運営 田原市少年少女発明クラブ
4. 対 象：クラブ員20名
5. 講 師：教育機関支援機構運営委員 伊藤正典
東三河地区委員会 委員 石原五郎
6. 内 容：君も今日からエジソン＆汚さずに流せるかな

田原少年少女発明クラブのクラブ員を対象に、知的財産に関する授業を行いました。授業は二部構成とし、前半（約1時間）で、発明や特許に関する講義（レオ君物語抜粋版含む）と発明発見クイズ（お菓子のネタ）、後半（約1時間半）で、発明工作（汚さずに流せるかな）＆特許回避・取得体験、発明に関するクイズを実施しました。

前半の講義では、安藤百福（カップヌードル）、エジソン（電球）等の著名な発明家の紹介とともに、小学生の発明を数点紹介し、発明が身近なものであることを感じてもらった上で、絆創膏を題材にしたプチ発明体験、実際の発明品（カド復活消しゴム）を使ってみる経験もしてもらいました。また、支援センターが提供しているレオ君物語の抜粋版を用い、特許制度の概要・重要性を理解してもらいました。

後半は、工作として「汚さずに流せるかな」に挑戦してもらいました。今回は、最近当機構で検討・導入を進めている「仮想特許回避＆特許取得体験」を取り入れ、他社（仮想特許）のアイデアを意識・尊重しつつ、自己のアイデアを明確にすることを意識してもらうよう進めました。また、特許取得体験では、私たち講師が審査官役をし、子どもたちに自分のアイデアを言語化してもらうことを行い、さらに、改良の示唆をすることで改良発明の意義・重要性についても学んでもらえたと思います。

発明クイズも好評で、「存続期間」や「共同発明」等の少し難しい概念についても、クイズ形式で提示することで、子どもたちの理解も深まるのでは、と感じました。今後、作成を進めていきたいと思います。

以上

知財授業の様子



東海会 教育機関支援機構 運営委員 伊藤正典
東三河地区委員会 委員 石原五郎

「北名古屋市少年少女発明クラブにおける知的財産授業」

1. 日 時：令和7年9月27日（土）10：00～12：00
2. 場 所：北名古屋市少年少女発明クラブ（北名古屋市立西春中学校の校舎）
3. 対 象：クラブ員27名
4. 講 師：教育機関支援機構 機構長 竹村恵一 副機構長 二宮佳亮
運営委員 丸山明夫
5. 内 容：君も今日からエジソン、回転台とその工作

名古屋市に隣接する北名古屋市少年少女発明クラブのクラブ員（小学校高学年が大多数）を対象に、知的財産に関する授業（君も今日からエジソン）と、知財に関連する理科の授業並びに授業内容に関連する工作指導（回転台）を行いました。

授業に先立ち、講師・二宮会員が、「発明って知っている人？」と問うと、皆、元気よく挙手しました。「ここ、発明クラブだよ」という声が聞こえてきました。なるほど、たしかに、と思いました。（写真1参照）

続いて、「弁理士って知っている人？」と問うと、一人だけ、挙手しました。45年前と比べて弁理士が何倍（10倍?）にも増えたにもかかわらず、弁理士の知名度はまだまだだな、と実感しました。

「君も今日からエジソン」では、小学校高学年に理解し易いように、講師・二宮会員が、かみ砕いて特許を解説しました。皆、熱心に聞いており、なるほど、という顔をしていました。

劇では、二宮会員、竹村会員、そして、怪人役の北名古屋少年少女発明クラブの指導者が、熱演しました。やはり、怪人の人気が大きいようで（写真2参照）、この衣装は貴重だな、紛失してはいけない、と思いました。

工作「回転台」は、正解が無い若しくは正解が多数という、充分に練られた課題であり、各児童は種々の工作を繰り返し行っていました。講師にとっても難しい課題であり、児童から助言を求められた場合も、「こうだ！」と、自信を持って答えることができず、「こうすると、どうなるかな？」と、一緒に考えながら工作するようにしました。この課題を考えついた人（人々）は、天才かもしれない。

児童のタイプも様々で、すぐ答えを知ろうとする児童も多かったのですが、自分の力でなんとか答えを出そうと、試行錯誤をあれこれ繰り返す児童もいました。或る児童は、一応の完成品を作成した後、ビー玉の数を減らしても安定して回転できるように種々チャレンジしていました。その児童は自分で考えているのだから、大人が横から答えを与えてはいけないと考えて、見守るにとどめました。

最後に、竹村先生が作成した工作品（解答例）を提示すると、大勢の児童が群がって、真剣に見ていました。その様子を見ていると、来て良かったと思いました。

この発明クラブは、良い運営をしているな、と感じました。

以上（文責・丸山）

【写真1】



【写真2】



東海会 教育機関支援機構 機構長 竹村恵一
副機構長 二宮佳亮
運営委員 丸山明夫

「こまき少年少女発明クラブにおける知的財産授業」

1. 日 時：令和7年9月28日（日）14：20～16：20

2. 場 所：こまき少年少女発明クラブ

3. 主 催：東海会 運営 こまき少年少女発明クラブ

4. 対 象：クラブ員18名

5. 講 師：教育機関支援機構 副機構長 中島貴志

運営委員 神戸真澄、廣江史典

6. 内 容：知財授業「レオ君の物語」、知財工作「スマホスタンド」

こまき少年少女発明クラブのクラブ員を対象として、知財授業および知財工作を実施しました。

知財授業では、主に発明や弁理士について簡単に説明した後、「レオ君の物語」のコンテンツを中心に、特許権の大切さや弁理士の役割について説明しました。

知財工作では、「スマホスタンド」の工作を行いました。

知財工作では、簡単な全体説明の後、各クラブ員に新しい「スマホスタンド」を発明してもらいました。正解のない題材であるため、悩むクラブ員もいましたが、ほぼ全員が課題を把握し、自分が発明した「スマートフォンスタンド」を完成させました。

工作の後には、「コンセプトやアイデアで悩む時間はそれなりに必要である」ということ、「誰かが作った「スマートフォンスタンド」を真似して作るだけであれば、悩まずに済むので簡単である」ということを説明し、特許の重要性について理解してもらいました。また最後には、全員に、作成した「スマートフォンスタンド」について発表してもらいました。

講義の様子



東海会教育機関支援機構 副機構長 中島貴志

運営委員 神戸真澄

運営委員 廣江史典

「週末パテントセミナー2025in静岡(静岡会場第1回)」

1. 日 時：令和7年10月3日（金） 18:30～20:40
2. 場 所：静岡労政会館 展示室・第3会議室
3. 主 催：日本弁理士会東海会 企画・運営：静岡県地区会
4. 後 援：関東経済産業局、

一般社団法人静岡県発明協会<INPIT 静岡県知財総合支援窓口>

静岡県よろず支援拠点、一般社団法人静岡県商工会議所連合会

5. 対 象：一般、中小企業経営者、知財関係者など19名
6. 講 師：東海会 静岡県地区会 居藤湖都、鈴木和政
7. 内 容：【前半】ビジネスモデルの守り方

【後半】国際ビジネスにおける特許権の効力

週末パテントセミナー2025in 静岡は、～裁判例から学ぶ知的財産法～が「通しテーマ」となっていますが、静岡会場開催の第1回目は特許法の判例から、「ビジネスモデルの守り方」と「国際ビジネスにおける特許権の効力」について講義を行いました。尚、前週9月26日に浜松会場で開催されたものと同一のテーマです。

前半の「ビジネスモデルの守り方」は居藤会員が担当しました。方法の発明やビジネスモデルの発明は、審査において発明の該当性が認められないことが往々にしてあるところ、権利化を目指す上で取り得る手段をどのように考えたらよいか、「いきなりステーキ事件」の判例等を基に解説しました。

後半の「国際ビジネスにおける特許権の効力」は鈴木会員が担当しました。完成前の加工品の輸出や並行輸入といった、国際的な取引に特許が絡む場合の侵害の有無に関する基本的な考え方から入り、やや複雑な「ドワンゴ対FC2事件」について裁判で示された判断を詳細に解説しました。

いずれも1時間前後の講義で、判例の他に実務経験に基づいた話も織り交ぜられており、一般企業の知財担当者にも聴きやすく、かつ実感の伴う内容だったのではないかと思います。



セミナーの様子

東海会 静岡県地区会 地区会長 中野雅章

運営委員 吉延彰広

運営委員 永田由美

**長野県と日本弁理士会との知的財産支援協定に基づく(地域知財経営支援ネットワーク事業)
「週末パテントセミナー2025 in 松本」**

1. 日 時：令和7年10月3日（金）14：00～16：30
2. 場 所：松本商工会館 603会議室
3. 講 師：(第一部) 三宅 誠司 氏 (国立大学法人信州大学 学術研究・产学官連携推進機構
助教 農学担当 URA)
(第二部) 栗原 潤 氏 (長野県 農業試験場 研究企画・知的財産部長)
4. 主 催：長野県、東海会（運営：日本弁理士会東海会 長野県地区会）、
一般社団法人長野県発明協会（INPIT 長野県知財総合支援窓口）
5. 後 援：関東経済産業局、長野県よろず支援拠点、一般社団法人長野県経営者協会、
一般社団法人長野県商工会議所連合会、長野県商工会連合会、
長野県中小企業団体中央会、長野県中小企業家同友会
運営日本弁理士会東海会 長野県地区会
6. 対 象：スタートアップ企業の経営者の方々、農林水産関係者の方々、個人事業主の方々、
新商品・新サービス展開を目指す方々、公共・公益団体等の方々、金融関係者、
中小企業の経営者、知的財産関係者、学生、一般市民の方々13名
7. 内 容：第一部「信州大学農学部の知財創出と地域連携：“これまで”と“これから”」
第二部「地域農業を支える知的財産戦略：長野県の取り組み」
第三部「農業×知財＝収益アップ！トップブランドに学ぶ実践術」
第四部 質疑応答

第一部では、信州大学の栗原誠司氏より、農学部における知的財産の取り組みについてご紹介いただきました。農学部の研究領域は多岐にわたり、様々な分野で知的財産が活用できる可能性がある点が印象的でした。

第二部では、長野県農業試験場の栗原潤氏より、長野県における知的財産の取り組みについてご紹介いただきました。具体的には、シナノゴールドに商標「YELLO」を付し、イタリアの協同組合にライセンスした事例など、実践的な取り組みが紹介されました。

第三部では、東海会の安部会員および東山会員より、農業分野における知的財産についてご紹介いただきました。東山会員はトマト「アーマーラ」を配布しながら、その知財活用について説明され、参加者が興味を持って耳を傾けていた点が印象的でした。



セミナーの様子

東海会 長野県地区会 地区副会長 岩垂裕司

(一社)三重県発明協会・日本弁理士会東海会「三重県発明くふう展～こども工作教室～」

1. 日 時：令和7年10月4日（土）10：30～15：30
2. 場 所：津リージョンプラザ 3F 展示室（三重県発明くふう展会場内）
3. 主 催：一般社団法人 三重県発明協会
4. 共 催：日本弁理士会東海会 INPIT 三重県知財総合支援窓口
5. 対 象：小学1～6年生 10～20名×3回
6. 講 師：東海会 三重県地区会 地区会長 伊藤寿浩
運営委員 小林宜延、松本悟、春日部仁之
7. 内 容：工作（1）キラキラ手作り分光器（万華鏡）
工作（2）圧電素子ライト

三重県津市で開催された「こども工作教室」に、上記指導員メンバーが、三重県知財総合支援窓口担当者らと共に工作の説明と指導を行いました。三重県内の工作教室の実施は今年で三年目となり、併設されている発明くふう展に隣接する部屋で開催しました。事前周知も行っていましたが、三重県発明くふう展を見に来た児童及び保護者が、当日こども工作教室の開催を知って参加された方もいました。

今年の開催期間は1日で、10：30～11：30の部、13：00～14：00の部、及び14：30～15：30の部の合計3回実施しました。今年は午前の部も午後の部も満遍なく参加者が多かったです。『昨年参加して楽しかったので、今年もまた参加しにきました』と仰られた参加者も複数名いました。特にキラキラ手作り分光器は人気が高く、各回ほぼ定員一杯、中には定員オーバーの回もありました。一方、圧電素子ライトはやや工作の難易度が高く、どちらかと言えば小学校中学年～高学年向けなので、参加者が若干少ない回もありました。次年度以降は、圧電素子ライト以外の工作を検討しても良いかと考えます。トータルすれば、今年は去年よりも盛況で、合計参加者は45名でした。

上記のように、これまでの活動を通してリピーターもあり、この活動は有意義であると考えます。今後の課題としては、単に工作して楽しかったで終わるのではなく、この活動を通して知財や弁理士の存在周知に繋げられるよう、もっと工夫をすべきではと考えます。



工作教室の様子

東海会 三重県地区会 地区会長 伊藤寿浩

「週末パテントセミナー2025in静岡(静岡会場第2回)」

1. 日 時：令和7年10月10日（金）18：30～20：40
2. 場 所：静岡労政会館 展示室・第3会議室
3. 主 催：日本弁理士会東海会 企画・運営：静岡県地区会
4. 後 援：関東経済産業局、

一般社団法人静岡県発明協会<INPIT 静岡県知財総合支援窓口>

静岡県よろず支援拠点、一般社団法人静岡県商工会議所連合会

5. 対 象：一般、中小企業経営者、知財関係者など20名
6. 講 師：東海会 静岡県地区会 田口滋子、八木秀幸
7. 内 容：【前半】意匠の類否判断
【後半】結合商標の類否判断

週末パテントセミナー2025in静岡は、～裁判例から学ぶ知的財産法～を通じテーマとして開催され、前半と後半とで異なるテーマに関する講義が行われました。

前半は、「意匠の類否判断」について田口会員が講師を務めました。田口会員は、意匠法の概要を説明した後に、裁判例を取り上げ、写真や図を用いたスライドにより分かりやすい解説を行いました。受講者から多くの質問も寄せられ、有意義なセミナーとなったものと思われます。

後半は、「結合商標の類否判断」について八木会員が講師を務めました。八木会員は、イラストを用いながら商標の類否判断に関する基礎知識を丁寧に説明した後、裁判例を取り上げて解説を行いました。難解な内容を平易な表現で丁寧に解説され、受講者の理解を深める講義となりました。

いずれも1時間の講義で、裁判例のほか、実務経験に基づいた話も織り交ぜられており、一般企業の知財担当者にも聴きやすく、実務に即した有意義な内容であったと思います。



セミナーの様子

以上

東海会 静岡県地区会 地区会長 中野正明

運営委員 吉延彰広

運営委員 松本喬

「沼津工業高等専門学校での知財紛争劇」

1. 日 時：令和7年10月10日（金） 14：50～16：20（第7、8時限）
2. 場 所：沼津工業高等専門学校 総合メディアセンター
3. 対 象：第3学年（約200名）
4. 講 師：東海会 教育機関支援機構 副機構長 中島貴志

運営委員 藤田早百合、阿出川豊、山本竜也、高田珠美、寺本諭史

5. 内 容：知財に関わる紛争の様子を疑似体験

3年生の生徒を対象に、知財紛争劇を行いました。同校では、パテントコンテストへの応募や知財検定の取得を奨励するなど、生徒の知財教育に力を入れ始めており、その一環として出前授業をご依頼いただいている。令和2年度および3年度は、2年連続でパテントコンテスト特許庁長官賞を受賞されています。

授業の前後には、沼津高専の先生から、「当校は知財教育に力を入れており、知財教育に関しては弁理士会東海会に非常にご協力頂いている」「紛争劇を通じて知財に関して生徒の理解が深められたのではないか」という旨のご意見をいただきました。

紛争劇の途中では生徒さんに適宜質問をし、生徒さんを巻き込みながら紛争劇を進行しました。時おり笑い声も起こるなど、生徒さんは紛争劇の内容に引き込まれている様子でした。

生徒への問い合わせに対しては積極的に手があがり、また、授業の後には、何人かの生徒さんから質問がありました。今回の紛争劇を通じて生徒さんの知的財産権に対する興味がさらに大きくなつたように感じました。場所的には名古屋から距離がありますが、生徒の意識や先生の熱意が高く、人数も200名ということで有効な支援活動になったと考えます。



紛争劇の様子

東海会 教育機関支援機構 運営委員 中島貴志

関西会

「知的財産特別授業」奈良県立王寺工業高等学校

1. 日 時：令和7年9月17日（水）13：25～15：15
2. 場 所：奈良県立王寺工業高等学校
3. 対 象：1年生 1クラス 38名
4. 講 師：千原清誠
5. 内 容：中学・高校知財授業（講義）

奈良県立王寺工業高等学校は、小高い丘にあります。生徒の皆さんには、毎日、その坂を上って登校する必要がありますので、勉強面だけでなく、体力面も鍛えられて卒業していくということです。

今回は、情報電子工学科の皆さんのが授業を聞いてくれました。夏休み明け、昼食直後、かつ涼しい部屋という、睡眠にはとても良い環境ではありましたが、クイズを交えたり、最近の事件、ゲームの知財などの話をしながら、何とか、知財や弁理士に興味を持っていただいたのではないかと思っています。

学校からの検索に関する内容を盛り込むとの要望がありましたので、J-PlatPatで、PayPayの特許を探したり、キーワードで検索したり、という簡単な内容を経験してもらいました。

教員の方によると、生成AIについては少し距離を置こうという方針だった時期もあるが、もう生成AIがあるという前提でどのように利用すべきかという方針に転換しつつあるとのことでした。



興味津々の生徒たちに授業を行う講師

※「PayPay」はPayPay株式会社の登録商標です。

関西会 知財授業担当 千原清誠

「知的財産特別授業」滋賀県立瀬田工業高等学校

1. 日 時：令和7年10月3日（金）10：05～11：00
2. 場 所：滋賀県立瀬田工業高等学校
3. 対 象：1～3年生 21クラス 755名
4. 講 師：寺薗佳江、岡本智之
5. 内 容：中学・高校知財授業（講義）

瀬田工業高等学校の全生徒を対象に、知的財産に関する授業を行いました。

バスクリン社入浴剤「きき湯」の事例を用いて詳細な解説を行った後に、アルファ社コインロッカー「A i T」の事例で復習をかねた解説を行いました。加えて、授業前に学校から要望があった「インターネット上における著作権侵害の問題」について事例を交えながら解説しました。具体的には、著作権にふれた後、「きき湯」の事例を用いて、開発した成果に関する特許権、意匠権、商標権の取得によって、他社に真似されないようにするという知財制度の仕組みを説明しました。それから、特許を取得するためには公開する必要があることを説明した上で、製品の特許は権利の取得後、他社の製品を分析すれば他社が侵害しているか否かを確認することはできるが、製法の特許は権利の取得後、他社がその製法を実施していることが分からぬ場合もあるので、公開することにより他社が容易に実施できてしまう危険性があることを説明しました。最後に、「A i T」の事例で繰り返し知財制度を学んでもらうことで、生徒の理解の深まりを図りました。

知的財産特別授業を通じて、生徒に知的財産への興味と理解を深めてもらえたと思いました。また、生徒から知的財産をより身近に感じることができたという感想をその場でいただくことができ、感慨深く感じました。



興味津々の生徒たちに授業を行う講師

※「きき湯」は株式会社バスクリンの登録商標です。

※「A i T」は株式会社アルファの登録商標です。

関西会 知財授業担当 寺薗佳江

「知的財産特別授業」大阪教育大学附属平野中学校

1. 日 時：令和7年10月8日（水）11：40～12：30
2. 場 所：大阪教育大学附属平野中学校
3. 対 象：1年生 3クラス 108名
4. 講 師：大西正夫、寺薗佳江、田中信治
5. 内 容：中学知財授業（寸劇）

今回訪問した大阪教育大学附属平野中学校では、技術と社会の授業の一環で知的財産について学ぶ機会が設定されていて、1年生の生徒が知財授業に参加してくれました。

知財授業の司会と弁理士役は寺薗会員が、ユメノ社長役は田中会員が、デパート店員役は学校の先生が、マネタ社長役は大西会員が演じました。

最初に弁理士という職業を知っているかどうか尋ねると、生徒から動画配信サイトに掲載されている動画を視聴して知ったとの回答がありました。次いで、スマートフォンに使われている知的財産権には特許権、意匠権、商標権があると説明しました。

寸劇の第1部では、マネタ社長の商品によってユメノ社長の商品の売り上げが落ちて倒産してしまった時に、マネタ社長の安い商品を購入したいという意見を支持する生徒が多くいました。寸劇の第2部では、特許権があるとユメノ社長はマネタ社長に対して特許権侵害であることを主張できたり、マネタ社長が倒産するのを防ぐためにユメノ社長の特許権をマネタ社長に実施許諾したりする展開に生徒は興味を示していました。

その後、生徒から弁理士や知的財産に関する質問を受けると、弁理士になるための方法や弁理士の仕事に対する鋭い質問が活発に出たので、弁理士という職業に関心を持ってもらえたと感じました。さらに、寸劇のストーリーが変わったらどうなるかという観点の質問も出たので、知財授業への理解を深めてもらえたと実感しました。

知財授業を通じて、向学心の高い生徒に接することができ、嬉しく思いました。



興味津々の生徒たちに講義を行う講師

関西会 知財授業担当 寺薗佳江

「知的財産特別授業」高槻市立樅田小学校

1. 日 時：令和7年10月8日（水）10：45～11：30
2. 場 所：高槻市立樅田小学校
3. 対 象：5・6年生 2クラス 13名
4. 講 師：滝川弘子、大釜典子
5. 内 容：小学知財授業（寸劇）

高槻市立樅田小学校を訪問しました。高槻市立樅田小学校は、高槻市北部の山間部に位置し、豊かな自然に恵まれた環境と、全校児童51名という少人数の特徴を活かした特認校です。

今回の授業は、5・6年生の2クラス13名を対象に、「君も今日からエジソン」の知財授業を行いました。司会進行役を滝川会員、F博士役を大釜会員、怪人X役を同校の男性教諭にご担当いただきました。

担任の教諭に事前に伺ったところ、5年生はおとなしく、6年生はやや警戒心が強いとのことでした。授業開始直後は児童に少し緊張が見られましたが、エジソンの発明の紹介あたりから次第にリラックスはじめ、サラカップル、カタシャンボトル、肩ブレラの紹介では、多くの児童から次々とユニークなアイデアが出てきました。

たとえば、肩ブレラの課題である「荷物が多くて傘が持てないとき、どうしますか?」という質問に対しては、「頭の上に傘を固定する」「荷物を肩にかけて手を空ける」「荷物と傘の柄をなんとか一緒に持つ」「友達に傘を持ってもらう」などの意見が挙がりました。

また、カタシャンボトルの紹介では、普通のボトルの先に針金入りチューブを取り付けるという初期アイデアからカタシャンボトルの発明に至ったことを説明すると、「おお~」という感嘆の声が上がりました。

これらの商品紹介を通して、ちょっとした工夫から便利な発明グッズが生まれていること、そして身近なところにも多くの発明品があることを理解してもらえたと思います。

寸劇では、怪人Xに扮した教諭の登場に大いに盛り上がりました。「F博士の高い商品と、怪人Xの安い商品だったら、どちらを購入しますか?」という滝川会員の問い合わせに対しては、「それぞれいくらなのか?」という質問があり、350円と110円という架空の価格を示したところ、「そんなに安いなら怪人Xのを買う!」「安い商品はすぐ壊れる!」など、現実的な価値観で判断する姿勢も印象的でした。

最後のクイズでは、腕で×や○を示して回答したり、正解すると大きな声で喜んだりと、大いに盛り上がりました。クイズに登場した発明品の発明者を知っている児童もあり、知的好奇心の高さを感じされました。

少人数を対象とした授業だったため、終始アットホームな雰囲気の中で進行することができました。児童たちが知的財産に興味を示していることが直接伝わってきて、発明に対する理解をより深められたと感じました。



興味津々の児童たちに講義を行う講師

関西会 知財授業担当 大釜典子

中国会

「令和7年度 INPIT 島根県知財総合支援窓口連携会議 ～架空の相談事例をもとにしたワークショップ～」

1. 日 時：令和7年10月7日（火）13：30～16：00
2. 主 催：INPIT島根県知財総合支援窓口
3. 共 催：中国経済産業局知的財産室
4. 場 所：石見産業支援センター（いわみぶらっと）会議室
5. 講 師：中正樹（中国会）
6. 対 象：24名（商工会議所経営指導員：5名、商工会連合会経営指導員：1名、金融機関：2名、島根県関連部署：5名、中国経済産業局：2名、INPIT：6名、島根県よろず支援拠点：3名）
7. 内 容：

INPIT 知財総合支援窓口では、地域の支援機関との連携会議を毎年開催しています。しかし、一方的な情報提供を行うだけの形式的な会議では本来の意味での地域関係機関の連携による知財経営支援は困難であると考え、企業支援を行う地域の商工会議所・商工会連合会の経営指導員、金融機関担当者及びよろず支援拠点担当者に向けたワークショップを実施しました。当該ワークショップでは、知財総合支援窓口の支援担当者も同席のうえ、架空の相談事例をもとに少人数のグループに分かれて議論を交わしました。なお、当該ワークショップは、知財経営支援ネットワーク（5者連携）における連携強化も意図して実施されました。

具体的な事例を交えて議論を交わすことで、日常の支援業務に潜む知財の認識を深めてもらえたように感じました。また、各機関担当者と知財総合支援窓口の支援担当者との交流を深める場にもなり、今後の5者連携の強化にも寄与するものであると感じられました。

ワークショップの最後には、講師から知財全般に関する説明や、知財戦略に関する説明があり、各機関担当者及び窓口支援担当者の双方に対して知財リテラシーを向上させる有意義なものであったと思われます。



ワークショップ風景

中国会 中井正樹

2

支援活動一覧表（11月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
北海道	25.07.01～ 26.01.31	サイエンスパーク・オンライン	なし（データ提供のみ）	ウェブ開催	その他
	25.11.14	高等学校向け人材育成支援事業	杉田基子	更別農業高等学校	講演
青森	25.11.12	日本弁理士会特許商標無料相談会	富沢知成	青森商工会議所	相談
岩手	25.11.05	日本弁理士会特許商標無料相談会	野崎俊剛	奥州商工会議所	相談
	25.11.12	日本弁理士会特許商標無料相談会	村雨圭介	盛岡商工会議所	相談
	25.11.20	令和7年度いわて知的財産権セミナー（知財授業）	東田潔	岩手県産業技術短期大学校水沢校	講演
宮城	25.11.12	日本弁理士会特許商標無料相談会	土田新	気仙沼商工会議所	相談
	25.11.26	第38回みやぎ発明くふう展（表彰式）	若山剛	ホテル白萩	その他
山形	25.11.19	日本弁理士会特許商標無料相談会	佐藤司	山形商工会議所	相談
福島	25.11.09	郡山市少年少女発明クラブでの知財授業	原田潤子 宮北康之	ピッグアイ	講演
	25.11.24	第71回福島県発明展（表彰式）	水野博文	郡山市労働福祉会館	その他
茨城	25.11.11	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	柴田富士子	オンライン	講演
	25.11.18	茨城大学寄附講座「知的所有権特論」	百武幸子	オンライン	講演
群馬	25.11.12	桐生信用金庫における「知的財産に関する研修」	山崎貴明	桐生信用金庫 太田本部 5階ホール	講演
埼玉	25.11.01	埼玉友好工業協議会主催「暮らしと事業のよろず相談会」	上村欣浩 石塚勝久 亀崎伸宏 宮北康之 寺尾康典	浦和コルソ コルソ7階ホール	相談
	25.11.07	知的財産セミナー 2025（11/7 埼玉）	増田綾香	新都心ビジネス交流プラザ	講演
	25.11.18	彩の国ビジネスアリーナ 2025	中大介 藤村貴史 増田綾香 漆山誠一	さいたまスーパーアリーナ (コミュニティアリーナ)	その他
	25.11.19	彩の国ビジネスアリーナ 2025	神田正義 塩野谷英城 岡崎廣志 石井良和	さいたまスーパーアリーナ (コミュニティアリーナ)	その他
千葉	25.11.05	佐倉商工会議所相談員派遣	日向麻里	佐倉商工会議所 2階会議室	相談
	25.11.06	千葉工業大学寄附講座	高橋洋平	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612講義室	講演
	25.11.13	千葉工業大学寄附講座	小野尾勝	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612講義室	講演
	25.11.20	船橋商工会議所相談員派遣	藤枝秀幸	船橋商工会議所 304号室	相談
	25.11.20	千葉工業大学寄附講座	小野尾勝	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館1階 612講義室	講演

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
千葉	25.11.22	世界一行きたい科学広場 in 浦安 2025	山川啓 田中秀喆 中村裕行 野村悟郎 小野尾勝 下地健一 高橋洋平 佐藤高信 高井智之 茂木健男	東海大学付属浦安高等学校 中等部 松前記念総合体育館 他	その他
	25.11.25	2025年度弁理士による特許無料相談会 (東葛テクノプラザ)	大槻昇	東葛テクノプラザ相談室 1階	相談
	25.11.27	千葉工業大学寄附講座	相田悟	千葉工業大学津田沼キャンパス 6号館 1階 612 講義室	講演
東京	25.11.04	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	25.11.06	第 68 回東京都児童生徒発明くふう展 審査会	樋田成人	(一社) 発明推進協会会議室	その他
	25.11.08	第 14 回事業と暮らしの無料相談会 (武蔵野三鷹)	下村和夫	三鷹産業プラザ 7 階会議室	相談
	25.11.11	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	25.11.13	2025 年度知財無料相談会 (町田)	徳本浩一	町田新産業創造センター又は オンライン	相談
	25.11.13	2025 年度東京商工会議所専門相談員	高橋一哉	東京商工会議所 中小企業相談センター	相談
	25.11.13	第 30 回いたばし産業見本市 製造と加工技術展 2025	滝川喜和夫 鈴木康介	植村記念 加賀スポーツセンター	相談
	25.11.14	品川区特許相談	滝川喜和夫	品川区立中小企業センター	相談
	25.11.14	知的財産セミナー 2025 (11/14 東京)	後藤仁志 上田精一	町田新産業創造センター	講演
	25.11.14	知的財産セミナー 2025 (11/14 中小)	内田浩輔 百瀬尚幸 金森一男 矢上礼宣 寺尾康典 堀宏光 飯村重樹 一般社団法人 日本医工ものづくり コモンズ・副理事長 柏野 智彦氏	弁理士会館 3 階 AB 会議室	講演
	25.11.14	第 30 回いたばし産業見本市 製造と加工技術展 2025	宮崎悟 太田洋子	植村記念 加賀スポーツセンター	相談
	25.11.18	2025 年度多摩地域 無料知的財産相談会	高原千鶴子	たましん事業支援センター (Win センター) 又はオンライン	相談
	25.11.18	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	25.11.18	2025 年度東京商工会議所文京支部 専門相談員	小西顕	東京商工会議所文京支部	相談
	25.11.22	発明工作授業 (第 27 回江戸川区産業ときめきフェア)	太田洋子 伊藤夏香	タワーホール船堀	講演
	25.11.25	東京農工大学 農学部 『知的財産権・特許法』	鈴木康介 鷺尾透 中重善文	東京農工大学 府中キャンパス 第一講義棟 25 番教室	講演
	25.11.26	第 25 回ビジネスフェア ブース出展	黒瀬泰之 小池誠	新宿住友ビル 三角広場	相談
	25.11.26	産業交流展 2025	高橋一哉 滝川喜和夫	東京ビッグサイト西展示棟 1・2 ホール、アトリウム (リアル展示会+オンライン 展示会)	相談
	25.11.27	産業交流展 2025	藤岡茂 須藤修三	東京ビッグサイト西展示棟 1・2 ホール、アトリウム (リアル展示会+オンライン 展示会)	相談

2. 支援活動一覧表（11月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
東京	25.11.28	産業交流展 2025	伊藤夏香 宮崎悟	東京ビッグサイト西展示棟 1・2ホール、アトリウム (リアル展示会+オンライン 展示会)	相談
	25.11.28	2025年度下期 BusiNest 無料知的財産相談会	保坂俊	BusiNest 内会議室 又はオンライン	相談
	25.11.28	品川区特許相談	瀬川喜和夫	品川区立中小企業センター	相談
神奈川	25.11.01	KISTEC 「モノづくり企業のための AIに関する知財」	宮崎修	オンライン	講演
	25.11.12	第18回川崎国際環境技術展	三宅康雅 砂場哲郎 稻垣朋子 柳元八大	カルッツかわさき	相談
	25.11.12	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	長谷川陽子	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.11.13	第18回川崎国際環境技術展	栗田由貴子 横川憲広 宮崎修	カルッツかわさき	相談
	25.11.13	KISTEC Innovation Hub 2025	河部康弘	オンライン	講演
	25.11.14	神奈川県立川崎図書館 令和7年度知的財産相談事業	坂本靖	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	25.11.15	暮らしと事業の何でも相談会 (八士業合同無料相談会)	長谷川陽子 坂田ゆかり	藤沢商工会館ミナパーク 6階 多目的ホール	相談
	25.11.19	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	賀澤正宏	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
	25.11.20	発明工作授業・知財授業 (公益財団法人川崎市産業振興財団)	栗田由貴子 播磨里江子 小屋迫利恵	川崎市立平間小学校	講演
	25.11.26	横浜市立大学寄附講座 「知的財産マネジメント」	高原千鶴子	横浜市立大学 金沢八景キャンパス	講演
山梨	25.11.28	神奈川県立川崎図書館 令和7年度知的財産相談事業	砂場哲郎	神奈川県立川崎図書館 知財スポット	相談
	25.11.11	令和7年度弁理士による 知的財産無料相談会(富士吉田)	横川憲広	富士吉田商工会議所 2階会議室	相談
	25.11.14	山梨テクノICTメッセ 2025	田村爾 浅川哲	アイメッセ山梨	その他
	25.11.15	山梨テクノICTメッセ 2025	土橋博司 望月義時	アイメッセ山梨	その他
富山	25.11.23	山梨の10士業による 無料なんでも合同相談会	山梨委員会委員	ジットプラザ	相談
	25.11.26	令和7年度地方発明表彰 表彰式	小林陽一	A N A クラウンプラザホテル 富山	その他
	25.11.19	第63回富山県発明とくふう展 表彰式	細川健人	富山県民会館	その他
石川	25.11.08	第61回石川県発明くふう展 表彰式	横井敏弘	石川県地場産業振興センター	その他
	25.11.08	士業団体よろず無料相談会	北陸会所属弁理士	香林坊アトリオ 4階 特設会場	相談
長野	25.11.04	けんしんBANKとの連携協定に基づく 日本弁理士会東海会絆プロジェクト 「けんしんBANKモデル事業 知財勉強会 (茅野支店)」	宮坂一彦	長野県信用組合茅野支店	その他
	25.11.07	けんしんBANKとの連携協定に基づく 日本弁理士会東海会絆プロジェクト 「けんしんBANKモデル事業 知財勉強会 (本店)」	傳田正彦	長野県信用組合本店	その他
	25.11.18	けんしんBANKとの連携協定に基づく 日本弁理士会東海会絆プロジェクト 「けんしんBANKモデル事業 長野知財 座談会(長野市)」	加藤光宏 加藤大輝 傳田正彦 間瀬武志 塩谷尚人 高垣佳希	長野信用組合会議室	その他

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
長野	25.11.18	けんしんBANKとの連携協定に基づく日本弁理士会東海会絆プロジェクト「けんしんBANKモデル事業 長野知財座談会（諫訪市）」	富澤正 奥田誠 宮坂一彦 佐藤大輔 鈴木和政 和氣光	R A K O華乃井ホテル	その他
静岡	25.11.19	静岡県立藤枝北高等学校・日本弁理士会東海会共催「INPIT の知財力開発校支援事業－知財学習講演－」	田口滋子	静岡県立藤枝北高等学校	講演
	25.11.20	静岡県立富士宮北高等学校における知財授業「知財の基本知識とノースンの活用について」	田口滋子	静岡県立富士宮北高等学校	講演
	25.11.21	静岡県立藤枝北高等学校・日本弁理士会東海会共催「INPIT の知財力開発校支援事業－知財学習講演－」	田口滋子	静岡県立藤枝北高等学校	講演
愛知	25.11.05	名古屋大学における「大学生のための資格業ガイドンス」	軸見可奈子 寺本諭史	名古屋大学	相談
	25.11.06	中小企業のための知財経営サロン（トーキングイベント）in 岡崎	和氣光 高垣佳希 有賀昌也 相馬和生 廣田美穂 大嶋泰貴 森岡智昭 宇佐見修三 和田直斗 川上則明 藤原純	岡崎市役所	その他
	25.11.07	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	山本竜也	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	25.11.08	稻沢市立六輪小学校 「知的財産・発明工作育授業」	伊藤正典	稻沢市立六輪小学校	講演
	25.11.14	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	二宮佳亮	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	25.11.21	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	教育機関支援機構 運営委員	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
	25.11.22	休日パテントセミナー in 名古屋	知的財産権制度 推進委員会委員	名古屋商工会議所 3F 第5会議室	講演
	25.11.26	名城大学における「大学生のための資格業ガイドンス」	南島昇 加藤肇	名城大学天白キャンパス	相談
	25.11.28	日本弁理士会東海会協力講座 名古屋市立大学 「教養教育課程－知的財産権入門－」	教育機関支援機構 運営委員	名古屋市立大学 山の畑キャンパス	講演
三重	25.11.14	知財広め隊事業 「週末パテントセミナー in 津」	外部講師 三重県 地区会運営委員	アスト津	講演
滋賀	25.11.22	知的財産特別授業	苗村潤 木村順子	長浜市立湯田小学校	講演
	25.11.27	知的財産特別授業	岸本忠昭 富永剛史	彦根市立若葉小学校	講演
	25.11.29	パテントセミナー 2025（第10回） 「研究開発現場からみた知財業務の現実と理想に向けた取り組み」	富永剛史	草津商工会議所	講演
	25.11.29	パテントセミナー 2025（第9回） 「アパレル事業と Fashion Law」	小畠裕士	草津商工会議所	講演
京都	25.11.11	知財基礎講座 2025 「著作権入門」	牧野仁美	オンライン	講演
	25.11.26	知的財産特別授業	大濱徹 榎原比呂志	木津川市立高の原小学校	講演
大阪	25.11.01	パテントセミナー 2025（第1回） 「初めての特許・実用新案」	谷和紘	オンライン	講演

2. 支援活動一覧表（11月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会場	区分
大阪	25.11.01	パテントセミナー 2025 (第2回) 「意匠入門 ～意匠権の戦略的活用方法～」	松井宏記	オンライン	講演
	25.11.08	パテントセミナー 2025 (第3回) 「ビジネスに活かす商標入門 ～実例で学ぶブランド戦略～」	石川克司	オンライン	講演
	25.11.08	パテントセミナー 2025 (第4回) 「クリエイターのための著作権入門～ 創作活動を楽しく行うためのチェック ポイント～」	山本雅之	オンライン	講演
	25.11.11	知的財産特別授業	村上太郎 木村順子	河内長野市立天見小学校	講演
	25.11.13	知的財産特別授業	道坂伸一 福澤聰真	大阪市立池島小学校	講演
	25.11.15	パテントセミナー 2025 (第5回) 「事例で身につけよう！ 契約書チェックの基本と要点」	三品明生	日本弁理士会関西会事務所	講演
	25.11.15	パテントセミナー 2025 (第6回) 「よくわかる知財訴訟」	井上周一	日本弁理士会関西会事務所	講演
	25.11.18	INPIT-KANSAI × 日本弁理士会関西会 × 大阪産業局オンラインセミナー 「海外展開における事業を守るために 商標・意匠の活用方法」	田中咲江 INPIT-KANSAI 知財戦略 エキスパート 鶴善一氏	オンライン	講演
	25.11.19	知的財産特別授業	苗村潤 中西博行	大阪市立巽南小学校	講演
	25.11.21	知的財産特別授業	古澤寛 飯田淳也	堺市立日置荘西小学校	講演
	25.11.28	MOBIO 知財セミナー (第4回) 「攻めと守りの武器になる！ 意匠権の活かし方」	石川皓平	MOBIO 産学連携オフィス セミナールーム	講演
	25.11.30	第54回大阪府生徒・児童教職員 発明くふう展 表彰式	山本宗雄	シティプラザ大阪	その他
兵庫	25.11.02	令和7年度 兵庫県学生児童発明くふう展 表彰式	楠屋宏行	兵庫県立工業技術センター	その他
	25.11.10	知的財産特別授業	後利彦 中野賢太	兵庫県立伊川谷高等学校	講演
	25.11.22	パテントセミナー 2025 (第7回) 「著作権、プロとしてこのあたりまで おさえています？確認しましょう！ ～契約実務から生成AIまで～」	甲斐一真	スペースアルファ三宮	講演
	25.11.22	パテントセミナー 2025 (第8回) 「その行為、実は違法かも？! ～不正競争防止法入門～」	矢倉雄太	スペースアルファ三宮	講演
	25.11.28	知的財産特別授業	水田慎一 鈴木武	神戸市立神港橋高等学校	講演
奈良	25.11.26	第82回奈良県児童・生徒発明くふう展 表彰式	小野敦史	イオンモール大和郡山	その他
和歌山	25.11.06	知的財産特別授業	渥美元幸 向林伸啓 鈴木武	和歌山県立日高高等学校 附属中学校	講演
鳥取	25.11.22	第67回鳥取県発明くふう展	田中俊夫	鳥取市文化センター	その他
島根	25.11.08	第28回島根県学生児童発明くふう展	河野生吾	いづも産業未来博 特設ステージ	その他
岡山	25.11.04	第89回岡山県児童生徒発明くふう展、 2025岡山県未来の科学の夢絵画展	秋山雅則	テクノサポート岡山 1階大会議室	その他
山口	25.11.06	令和7年度地方発明表彰	田中咲江	山口グランドホテル	その他
福岡	25.11.08	第25回九州・大学発 ベンチャー・ビジネスプランコンテスト	隅田俊隆	ももち浜 SRP ホール	その他
	25.11.16	第68回福岡県児童生徒発明くふう展 表彰式	隅田俊隆	スペース LABO ANNEX プレゼンテーションスタジオ	その他
熊本	25.11.26	第60回熊本県発明工夫展 表彰式	高宮章	熊本県庁地下大会議室	その他

2. 支援活動一覧表（11月分）

都道府県	開催年月日	イベント・セミナー名	講師 or 相談員氏名	会 場	区分
宮崎	25.11.06	知財授業	川口敬義	宮崎県立高城高等学校	講演
	25.11.22	第 84 回宮崎県学校発明くふう展 表彰式	隅田俊隆	宮崎県庁本館講堂	その他
鹿児島	25.11.12	鹿屋・大隅地域創業スクールの 知財セミナー	森田海幹	鹿屋商工会議所	講演
	25.11.17	知財セミナー（5 者連携）	東和博	南さつま商工会議所	講演
	25.11.21	姶良市商工会での知財セミナー	村上加奈子	姶良市商工会	講演
沖縄	25.11.07	第 42 回未来の科学の夢絵画展（県内展）審査会	松本浩一郎	沖縄産業支援センター 3 階	その他
	25.11.23	令和 7 年度「創業塾」	大久保秀人	沖縄商工会議所	講演
	25.11.30	第 42 回未来の科学の夢絵画展（県内展）表彰式	川條英明	沖縄県立博物館・美術館 県民ギャラリー	その他

知財経営支援ネットワーク事業

日本弁理士会関西会

パテントセミナー

2025

日本弁理士会関西会は、知的創造活動の普及と促進の一環として、一般の方々に広く知的財産権を理解していただけるよう弁理士等の専門家がわかりやすく説明する、知的財産権に関するセミナーを開催します。

特許庁、INPIT、日本商工会議所、日本弁理士会は「知財経営支援ネットワーク構築への共同宣言」を行いました(令和5年3月24日)。

令和6年12月には、新たに中小企業庁が加わりました。

どなたでも
参加可能です

参加費
無料



申込みページ

はっぴょん
日本弁理士会
公式マスコットキャラクター

主 催：日本弁理士会関西会

後 援：近畿経済産業局

(独)工業所有権情報・研修館 近畿統括本部

(独)中小企業基盤整備機構 近畿本部

(公財)大阪産業局

オンラインセミナー

*オンラインセミナーは入門編として開催します。

定員
500名

Zoom
ウェビナー

回数	テーマ	講師	開催日時
第1回	初めての特許・実用新案	弁理士 谷 和絵	11/1(土) 10:00-11:40
第2回	意匠入門 ～意匠権の戦略的活用方法～	弁理士 松井 宏記	11/1(土) 14:00-15:40
第3回	ビジネスに活かす商標入門 ～実例で学ぶブランド戦略～	弁理士 石川 克司	11/8(土) 10:00-11:40
第4回	クリエイターのための著作権入門 ～創作活動を楽しく行うための チェックポイント～	弁理士 山本 雅之	11/8(土) 14:00-15:40

大阪パテントセミナー

会場：日本弁理士会関西会

定員
140名
MAP 1

第5回	事例で身につけよう！ 契約書チェックの基本と要点	弁護士・弁理士 三品 明生	11/15(土) 10:00-11:40
第6回	よくわかる知財訴訟	弁護士・弁理士 井上 周一	11/15(土) 14:00-15:40

兵庫パテントセミナー

会場：スペースアルファ三宮

定員
70名
MAP 2

第7回	著作権、プロとしてこのあたりまで おさえておられます？確認しましょう！ ～契約実務から生成AIまで～	弁護士・弁理士 甲斐 一真	11/22(土) 10:00-11:40
第8回	その行為、実は違法かも？! ～不正競争防止法入門～	弁護士・弁理士 矢倉 雄太	11/22(土) 14:00-15:40

滋賀パテントセミナー

会場：草津商工会議所

定員
60名
MAP 3

第9回	アパレル事業とFashion Law	弁理士 小畠 裕士	11/29(土) 10:00-11:40
第10回	研究開発現場からみた知財業務 の現実と理想に向けた取り組み	弁理士 富永 剛史	11/29(土) 14:00-15:40

パテントセミナー 2025

オンライン (Zoom ウェビナー) 定員：500 名

※オンラインセミナーは入門編として開催します。

回 数	テ　ー　マ	講　師	開 催 日 時
第 1 回	初めての特許・実用新案	弁理士 谷 和紘	11/1 (土) 10:00～11:40
	特許制度について勉強したいと思うけど、堅苦しい本を読むのはしんどいなあっていう方多いと思います。 そこで、1時間半程度のセミナーで特許制度の概要をはじめのある実例を上げながらコンパクトにまとめてお話しします。		
第 2 回	意匠入門 ～意匠権の戦略的活用方法～	弁理士 松井 宏記	11/1 (土) 14:00～15:40
	意匠の基礎知識をお話するとともに、関連意匠や部分意匠を用いた戦略的活用方法、類似範囲の明確化および拡張について説明します。また、技術的形態の保護において特許を補完する意匠権の活用、ブランド形態の意匠による保護についても実例を交えて解説します。		
第 3 回	ビジネスに活かす商標入門 ～実例で学ぶブランド戦略～	弁理士 石川 克司	11/8 (土) 10:00～11:40
	ブランドの保護やトラブル回避に欠かせない商標。経験豊富な商標専門家が、ビジネスの現場で実際にあった商標出願の事例などを交えてわかりやすく解説します。		
第 4 回	クリエイターのための著作権入門 ～創作活動を楽しく行うためのチェックポイント～	弁理士 山本 雅之	11/8 (土) 14:00～15:40
	漫画家さん、イラストレーターさん、画家さん、写真家さん、作家さんなど、創作活動を行っている方に知ってもらいたい著作権の超基本的な内容とか、契約の留意点についてお伝えします。		

大阪パテントセミナー（日本弁理士会関西会） 定員：140 名

回 数	テ　ー　マ	講　師	開 催 日 時
第 5 回	事例で身につけよう！ 契約書チェックの基本と要点	弁護士・弁理士 三品 明生	11/15 (土) 10:00～11:40
	企業間の共同開発や技術提携が活発化する中で、秘密保持契約や共同開発契約を締結する機会が増えています。本セミナーでは、具体的な事例を使って、契約の考え方、交渉の仕方をわかりやすく解説します。		
第 6 回	よくわかる知財訴訟	弁護士・弁理士 井上 周一	11/15 (土) 14:00～15:40
	中小企業やベンチャー企業では知的財産の侵害訴訟を経験したことがある方は少ないかと思います。 セミナーでは簡単な事例を紹介しながら、手続の概要や対応のポイントをわかりやすく解説します。		

兵庫パテントセミナー（スペースアルファ三宮） 定員：70名

回 数	テ　マ	講　師	開 催 日 時
第7回	著作権、プロとしてこのあたりまでおさえています？確認しましょう！～契約実務から生成AIまで～	弁護士・弁理士 甲斐 一真	11/22 (土) 10:00～11:40
このセミナーでは、著作権に関する契約実務と昨今話題の生成AIに関する論点をベースに、著作権法分野において、著作権法に携わる実務家として「今」おさえておくべき実務上のポイントをお話しします。			
第8回	その行為、実は違法かも？！～不正競争防止法入門～	弁護士・弁理士 矢倉 雄太	11/22 (土) 14:00～15:40
不正競争防止法に関し、実際に起こりうる違反事例や見落としがちなリスクを紹介します（本セミナーの対象は営業秘密を含みこれに限りません。）。事業活動に身近に潜む「落とし穴」を知り、法令違反の未然防止に役立てましょう。			

滋賀パテントセミナー（草津商工会議所） 定員：60名

回 数	テ　マ	講　師	開 催 日 時
第9回	アパレル事業とFashion Law	弁理士 小畠 裕士	11/29 (土) 10:00～11:40
デザイン盗用やブランド模倣、著作権契約の注意点など、具体的な事例を交えて法律の基礎を丁寧に解説します。ファッション業界はもちろん、創作や情報発信に関心のあるすべての方に役立つ内容です。			
第10回	研究開発現場からみた知財業務の現実と理想に向けた取り組み	弁理士 富永 剛史	11/29 (土) 14:00～15:40
実際の研究開発現場では、「忙しい」、「時間が無い」といった理由が正当化され、知財が後回しになることがあります。研究開発と知財に有機的な結びつきをもたせ、両輪で進めていくことを目標に、試行錯誤した経験と学びを紹介します。			

申込方法

対　象：どなたでもご参加可能です



日本弁理士会関西会ホームページ
(<https://www.kjpaa.jp/>) より
講座ごとに事前申込制。（先着順）



日本弁理士会関西会
ホームページ

知財経営支援ネットワーク事業 日本弁理士会関西会 パテントセミナー 2025



申込方法

日本弁理士会関西会ホームページ (<https://www.kjpaa.jp/>) より
講座ごとに事前申込制。(先着順)

対象

どなたでもご参加可能です。

参加費
無料



申込みページ

会場でのセミナーにおける注意事項

- お申込み後は、直接会場にお越しください。
- 定員となり次第、締め切らせていただきますのでご了承願います。
- 会場へのお問い合わせはご遠慮ください。
- 地震、台風等の自然災害が発生した場合には、予告なく開催を中止することがございます。



オンラインセミナーにおける注意事項

- 本セミナーの録画、録音等は禁止します。
- 本セミナーの参加には、受講者の責任において、参加に必要なコンピュータ、利用環境、通信機器、通信回線その他設備を保持し、設定および管理するものとします。
- 本セミナーは、Zoom ウェビナーを利用してインターネットで配信するため、ご利用されるデバイス、インターネットの通信状況等により、参加できない場合があります。その場合、主催者は責任を負いません。
- 本セミナーの動画や音声等すべての知的財産権は講演者とその所属先及び当会に帰属します。
- 私的利用など一定の範囲以外の目的で著作権者の許諾を得ずに複製、公衆送信等を行うことは著作権法などの法律により著作権侵害や著作隣接権侵害などの違法行為となります。
- 本セミナーで利用するウェブサービス (Zoom サービス等) の規約に違反する行為は禁止いたします。
- 講師が体調不良となった場合には、中止させていただく場合がございます。
あらかじめご了承ください。



《個人情報の取り扱いについて》

ご登録いただいた個人情報は日本弁理士会の個人情報保護方針 (<https://www.jpaa.or.jp/privacy/>) に基づき、適切に管理いたします。

●個人情報（個人データ）の利用目的

お申込みの際にご登録いただいた個人情報は、本イベントの申込管理や運営、本イベントに関する通知、連絡及び統計資料管理のために利用させていただきます。

なお、法令に定める場合を除き、これら以外の目的のための利用または第三者提供はいたしません。

問い合わせ先

日本弁理士会関西会

TEL:06-6453-8200 <https://www.kjpaa.jp/>

※オンラインセミナーに関する技術的なお問い合わせには一切回答出来ません。

MAP.① ▼ 大阪パテントセミナー会場 ▼

日本弁理士会関西会



大阪市北区
梅田3-3-20
明治安田生命
大阪梅田ビル25階



最寄駅
JR環状線・京都線・神戸線・おおさか東線
「大阪駅」より徒歩10分
大阪メトロ四ツ橋線「西梅田駅」より
徒歩8分・御堂筋線「梅田駅」より
徒歩10分
阪神線「大阪梅田駅」より徒歩10分
※地下道からお越しの方は
OsakaGardenCity 番号「6-30」を目印にお越しください

MAP.② ▼ 兵庫パテントセミナー会場 ▼

スペースアルファ三宮



神戸市中央区
三宮町1-9-1
三宮センタープラザ
東館6階



最寄駅
JR神戸線「三ノ宮駅」、
阪急・阪神「神戸三宮駅」より
徒歩5分
地下鉄・ポートライナー
「三宮駅」より徒歩約5分
地下鉄海岸線「三宮・花時計前駅」より
徒歩約3分

MAP.③ ▼ 滋賀パテントセミナー会場 ▼

草津商工会議所



草津市大路
2丁目1-35
キラリ工草津3階



最寄駅
JR琵琶湖線「草津駅」より
徒歩5分

使える！わかる！動ける！
企業の方はもちろん、支援に携わる方にもお薦め！

チラシ限定・参加費無料！

※本チラシをご覧の方は、
クーポンコード「JPAAIP」入力で参加費無料！

“強み”を利益に変える実践型プログラム **知財活用塾 -入門編-** **集合セミナー**

「知っている」から「使いこなす」へ
知財を「コスト」ではなく「武器」に変える！

セミナー
の特徴

- “収益に効く”知財活用を学ぶ
- グループワーク中心の構成
- 9割が「業務に活かせる」と回答

日本弁理士会 主催

第1講

2025.12.23火
13:30-17:30

【会場】弁理士会館
東京都千代田区霞が関3-4-2

加藤 浩

青山特許事務所、顧問弁理士。
大学教授として知的財産法の講義を担当している。
20年ほど特許庁にて特許審査官・審判官を担当した。
地方大学において10年近く特許塾の講師の経験あり

副講師：原 晶子/廣瀬 勝夫



第2講

2026.1.8木
13:30-17:30

【会場】AP虎ノ門
東京都港区西新橋1-6-15
日本酒造虎ノ門ビル（NS虎ノ門ビル）

中 富雄

工作機械メーカーから特許事務所に転職。
複数の特許事務所で勤務後、中小企業支援を主な業務とするために10年前に独立する。独立する前から継続して中小企業支援に携わっている。

副講師：浜谷 康一/武田 雄人



第3講

2026.1.22木
13:30-17:30

【会場】AP虎ノ門
東京都港区西新橋1-6-15
日本酒造虎ノ門ビル（NS虎ノ門ビル）

今野 佳洋

企業に所属する弁理士。
発明者として企業内で商品開発と知的財産の融合を検討、
実行する。商品開発責任者としてアメリカ子会社へ出向し、
広義な知的財産にて売上を伸ばすことを経験する。

副講師：山本 瞳也/永田 俊策



お申込みはこちらから

二次元コードまたはWEBサイトからお願いします。

<https://peatix.com/event/4671340/view>

ネットで検索



知財活用塾



お問い合わせ

日本弁理士会 経営・支援室

TEL : 03-3519-2709

MAIL : keiei@jpaa.or.jp

セミナーの内容

本講座では、「何をしたら事業に知財を活かせるのか、収益に貢献できるのか」という問い合わせに対し、講師陣から冒頭に明確な回答を提示します。その上で、各回ごとに異なる視点から、これを実現するための具体的なアプローチを、グループワークを通じて体感していただきます。

受講者層として、中小企業やスタートアップの経営者、知財担当者、またこれらの方を支援する支援担当者等で、特許、商標等の制度自体についてある程度ご存じの方を想定しています。法律の解説は最小限にとどめ、企業の現場で役立つ視点や考え方を中心にお伝えします。1日のみでも受講可能です。

第1講 12月23日

事業活動と知的財産権

第1部 ヒット商品と知的財産

第1章 商品開発と知的財産

- (1) 自社の強みは何か
- (2) 知財制度の役割
- (3) 商品開発と知的財産

第2章 事例研究

- ・「モンカフェ」「ルンバ」「超立体マスク」「雪見だいふく」など

第3章 グループ討論

- ・開発者の視点から、知的財産の保護と活用に配慮した商品開発について検討します。

第2部 事業活動と知的財産

第1章 事業活動と知的財産活動

- (1) 知的財産活動の現状
- (2) 知的財産活動の課題
(契約の問題を含む)
- (3) 知的財産活動の今後の方向性

第2章 事例研究

- ・「セルフレジ事件（UNIQLO）」「クイックホイール事件（Apple社）」等

第3章 グループ討論

- ・知財担当者の視点から、開発された商品における知的財産の保護と活用について検討します。

第3部 企業経営と知的財産

第1章 知的財産戦略の考え方

- (1) 知的財産戦略の必要性
- (2) 知的財産戦略の類型、社内体制・予算
- (3) 知的財産戦略の策定に向けて

第2章 事例研究

- ・知財ミックス戦略、オープン＆クローズ戦略、ポートフォリオ戦略など

第3章 グループ討論

- ・経営者の視点から、開発された商品に関する知的財産戦略を検討します。

第2講 1月 8日

知財をどう活用すべきか ～価値を高める知財の活用方法～

第1部 価値を生み出すには

- (1) 顧客に提供する価値を生み出す源泉とは
- (2) 知財に対する認識を広げる

グループ討論①

“ヒット商品”となる理由を多角的に考える

第2部 知財を捉える ～経営デザインシートを使って～

- (1) 価値の源泉を抽出する
- (2) 価値の源泉における知財を認識する

グループ討論

「これまで」の姿を見直し、
「これから」の在りたい姿を構想する

第3部 価値を最大化させる ための知財活用とは

- (1) 価値を最大化させるための知財戦略
(オープン＆クローズ戦略)
- (2) 知財活用の事例紹介

グループ討論

「これから」の在りたい姿を達成するために
知財を活用する

第4部 まとめ

セミナー受講者の声



演習と講義の組み合わせで理解度が高まった



普段の業務で得られない視点を得られた



ベストでなくてもベターな答えをみつける考え方を学べた

※昨年度まで実施していた「JPAA知財活用講座」及び本年度実施した「知財活用塾」オンラインセミナーに近い内容です。
セミナー受講者の声は、これらを含む前身のセミナーの受講者の声です。

※上記の構成は、細部が変更となる可能性があります。

模倣や情報流出など、さまざまなテーマで知的財産を学ぶ

知財セミナー

～攻めと守りの武器になる！
意匠権の活かし方～

2025年11月28日(金) 15:30～18:30



「意匠権を実際にどう活用すればいいのか分からず」を解決！
活用実例を交えてわかりやすく解説します。

開催場所

<第1部：セミナー> MOBIO産学連携オフィス セミナールーム（クリエイション・コア東大阪 南館2F）
<第2部：交流会> MOBIOコミュニケーションスペース（クリエイション・コア東大阪 南館2F）

定員

20名

※満席になり次第、締め切ります。

登壇者



石川 皓平（いしかわ こうへい）氏

弁理士法人藤本パートナーズ

申込締切日

2025年11月27日(木)

プログラム

<第1部>セミナー（15:30～17:30） <第2部>交流会（17:30～18:30）

参加費用について

<第1部：セミナー> 無料 <第2部：交流会> 500円／名（消費税込み）

※交流会への参加は任意です。※当日はお釣りの必要がないようご準備ください。

お申込方法

右記QRコードもしくはMOBIOホームページからお申込ください。



【主催】MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）【共催】日本弁理士会関西会



【お問合せ先】公益財団法人大阪産業局 MOBIO（ものづくりビジネスセンター大阪）

〒577-0011 大阪府東大阪市荒本北1-4-17 クリエイション・コア東大阪北館1F

【担当】小倉・二宮 [TEL] 06-6748-1011 [E-mail] mobio_chizai@obda.or.jp

【受付時間】月～金 9:00～17:00（祝日・年末年始除く）



※交流会は、申込状況によって開催しない場合があります。その場合は、前日までに申込者にお知らせいたします。

※セミナー・交流会にご参加の際は、公共交通機関をご利用ください。

常設知的財産相談室(無料)

※すべて予約制です。

東海会

TEL 052-211-3110

URL : <https://www.jpaa-tokai.jp/>

相談時間：月～金曜日／13:00～16:00

北海道会

TEL 011-736-9331

URL : <https://jpaa-hokkaido.jp/>

相談時間：

毎週火曜日・金曜日／14:00～16:00

関西会

TEL 06-6453-8200

URL : <https://www.kjpaa.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、
14:00～16:00

東北会

TEL 022-215-5477

URL : <https://www.jpaa-tohoku.jp/>

相談時間：毎週火曜日／13:00～16:00

中国会

TEL 082-224-3944

URL : <https://www.jpaa-chugoku.jp/>

相談時間：毎週水曜日／13:00～15:00

北陸会

TEL 076-266-0617

URL : <https://www.jpaa-hokuriku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

四国会

TEL 087-822-9310

URL : <https://jpaa-shikoku.jp/>

相談時間：

※相談日はホームページをご覧ください。

関東会

TEL 03-3519-2707

URL : <https://www.jpaa-kanto.jp/>

相談時間：月～金曜日／10:00～12:00、
14:00～16:00

九州会

TEL 092-415-1139

URL : <https://www.jpaa-kyusyu.jp/>

相談時間：毎週木曜日／10:00～12:00、
13:00～15:00

中小企業の知財を活かして成長を支援します！

【弁理士知財キャラバン】のご紹介

知財を経営に活かすコンサルティングスキルをもった弁理士が
最大3回訪問して、共に課題を解決し業績アップを目指します。

●Point！

- ・費用は無料(日本弁理士会が負担します)。
- ・これまで150社以上の中小企業に対して支援を実施しています。



詳細はコチラ▶



問い合わせ先：日本弁理士会 弁理士知財キャラバン 担当
E-mail:caravan@jpaa.or.jp

<https://www.jpaa.or.jp/activity/caravan>

お問い合わせやご送付先に変更がございました場合には 日本弁理士会 経営・支援室まで

電話：03-3519-2709 (直) FAX：03-3519-2706

MAIL：shien@jpaa.or.jp

URL：https://www.jpaa.or.jp/support_activity/